

シラバス

指定番号 254

商号又は名称：株式会社ワイズユアアイ

科目番号・科目名	(1)職務の理解			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に先立ち、研修課程全体の構成や各研修科目間の関連性をイメージできるようになる。 ・介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って以降の研修に実践的に取り組めるようになる。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	2	2	0	<講義内容> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービス（居宅・施設） ・介護保険外サービス <演習内容> 各サービスの中で知っていることやサービスに対する印象・イメージなどについてグループワークを行う
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4	0	<講義内容> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ・居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的イメージ ・ケアプランの位置付けに始まり、サービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・多職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携 <演習内容> 訪問系、通所系、入所・入居系それぞれの長所と短所を考え、各介護現場で提供されると思われるケア内容を話し合うグループワークを行う
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材（教科書付属 DVD など） ・プロジェクター ・模造紙 ・マーカー
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 254

商号又は名称： 株式会社ワイズユーアイ

科目番号・科目名	(2)介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の目標や展開について、尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて概説できる。 ・虐待の定義、身体拘束、およびサービス利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護についての基本的なポイントを列挙できる。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	6	1	5	<p><講義内容></p> <p>(1)人権と尊厳の保持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人としての尊重 ・アドボカシー ・エンパワーメントの視点 ・「役割」の実感 ・尊厳のある暮らし ・利用者のプライバシーの保護 <p>(2) I C F</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護分野における I C F <p>(3) Q O L</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Q O Lの考え方 ・生活の質 <p>(4)ノーマライゼーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションの考え方 <p>(5)虐待防止・身体拘束禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待防止法と虐待防止 ・身体拘束の禁止と廃止のための5つの指針 ・介護者支援 <p>(6)個人の権利を守る制度の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法 ・成年後見制度 ・日常生活自立支援事業 <p><通信学習課題内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権と尊厳の保持 ・利用者のプライバシーの保護 ・QOL ・ノーマライゼーション ・虐待
② 自立に向けた介護	1	1	0	<p><講義内容></p> <p>(1)自立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援 ・自立支援の視点 ・自立支援の3段階 ・意欲を高める支援 ・個性／個別ケア ・重度化防止 <p>(2)介護予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の考え方
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2	0	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の基礎知識 ・介護に関連した基本的人権の尊重
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	
------------	--

シラバス

指定番号 254

商号又は名称： 株式会社ワイズユーアイ

科目番号・科目名	(3)介護の基本			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の目指す基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について列挙できる ・介護職として共通の基本的な役割とサービスごとの特性、医療・看護との必要性について列挙できる ・介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族などとかかわる際の留意点について列挙できる。 ・生活支援の場で遭う典型的な事故や感染、介護における主要なリスクを列挙できる。 ・介護職に起こりやすい健康障害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方、留意点について列挙できる。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種連携	2	0.5	1.5	<p><講義内容></p> <p>(1)介護環境の特徴の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護と施設介護サービスの違い ・地域包括ケアについて <p>(2) 介護の専門性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度化防止、遅延化の視点 ・利用者主体の支援姿勢 ・自立した生活を支えるための援助 ・根拠のある介護 ・チームケアの重要性 <p>(3)介護にかかわる職種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる専門性を持つ多職種の理解 ・介護支援専門員 ・サービス提供責任者 ・看護師等とチームとなり利用者を支える意味 ・互いの専門職能力を活用した効果的なサービスの提供とチームケアにおける役割分担 <p><通信学習課題内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性
② 介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	<p><講義内容></p> <p>◎職業倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職の倫理の意義、介護の倫理、介護職としての社会的責任 ・介護福祉制度 ・プライバシーの保護・尊重 <p><通信学習課題内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業倫理

③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	1	1	<講義内容> (1)介護における安全の確保 ・事故に結びつく要因を探り対応していく技術 「ハザードとリスク」 (2)事故予防、安全対策 ・リスクマネジメント ・さまざまなリスクの例 ・事故報告・情報の共有 (3) 感染対策 ・感染の原因と経路（感染源の排除、感染経路の遮断） <演習内容> ・介護現場で起こるかもしれない事故について話し合う グループワークを行う <通信学習課題内容> ・リスクマネジメント
④ 介護職の安全	1	1	0	<講義内容> ◎介護職の安全管理・健康管理 ・介護職員の健康管理 ・感染予防対策 ・手洗い・うがいの励行 ・手洗いの基本 ・ストレスマネジメント ・腰痛予防
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	・プロジェクター ・模造紙 ・マーカー
------------	---------------------------

シラバス

指定番号 254

商号又は名称：株式会社ワイズユアアイ

科目番号・科目名	(4)介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	<p>・生活全体の支援の中で介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について列挙できる。</p> <p>・介護保険制度や障害者自立支援制度の理念、介護保険制度の財源構成と保険料負担の役割について列挙できる。</p> <p>例：税が財源の半分であること、利用者負担割合</p> <p>・ケアマネジメントの意義について概説でき、代表的なサービスの種類と内容、利用の流れについて列挙できる。</p> <p>・高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方を理解し、代表的な障害者福祉サービス、権利擁護や成年後見制度の目的、内容について列挙できる。</p> <p>・医行為の考え方、一定の要件のもとに介護福祉士などが行う医行為などについて列挙できる。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3.5	0.5	3	<p><講義内容></p> <p>(1)介護保険制度創設の背景及び目的、動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメント ・予防重視型システムへの転換 ・地域包括支援センターとは ・地域包括ケアシステム <p>(2)仕組みの基礎的理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険制度としての基本的仕組み ・介護給付と介護予防給付種類 ・要介護認定の手順 <p>(3)制度を支える財源、組織、団体の機能と役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政負担 ・指定介護サービス事業者の指定 <p><通信学習課題内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景及び目的、動向 ・仕組みの基礎的理解 ・制度を支える財源 ・ケアマネジメント
② 医療との連携とリハビリテーション	3.5	0.5	3	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医行為と介護 ・訪問看護、施設における看護と介護の役割・連携 ・リハビリテーションの理念 <p><通信学習課題内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医行為と介護 ・訪問看護 ・リハビリテーションの理念
③ 障がい者福祉制度およびその他制度	2	0.5	1.5	<p><講義内容></p> <p>(1)障がい者福祉制度の理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいの概念 ・ICF (国際生活機能分類) <p>(2)障がい者福祉制度の仕組みの基礎的理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護給付、訓練等給付の申請から支給決定まで <p>(3)個人の権利を守る制度の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法 ・成年後見制度 ・日常生活自立支援事業 <p><通信学習課題内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者福祉制度の理念 ・障がい者福祉制度の仕組みの基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要
(合計時間数)	9	1.5	7.5	

使用する機器・備品等	
------------	--

シラバス

指定番号 254

商号又は名称： 株式会社ワイズユーアイ

科目番号・科目名	(5)介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・共感、受容、傾聴的態度、気付きなど、基本的なコミュニケーション上のポイントについて列挙できる。 ・家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と介護における相談援助技術の重要性を理解し、介護職として持つべき視点を列挙できる。 ・記録の機能と重要性に気付き、主要なポイントを列挙できる。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	4.5	2.5	2	<p><講義内容></p> <p>(1)介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮 ・傾聴と共感 <p>(2)コミュニケーションの技法、コミュニケーションの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バーバルコミュニケーション ・ノンバーバルコミュニケーション <p>(3)利用者・家族とのコミュニケーションの実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者とのコミュニケーション ・家族とのコミュニケーション ・アセスメントの手法とニーズとデマンドの違い <p>(4)利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視力、聴力の障害に応じたコミュニケーション技術 ・失語症に応じたコミュニケーション技術 ・構音障害に応じたコミュニケーション技術 ・認知症に応じたコミュニケーション技術 <p><演習内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中にある、さまざまなノンバーバルコミュニケーションのツールを話し合うグループワークを行う ・視力や聴力が低下した方は、どのようなことに困るかを話し合い、それに対してどのように情報を伝えればよいのかを話し合うグループワークを行う <p><通信学習課題内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーション ・非言語コミュニケーション ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際
② 介護におけるチームのコミュニケーション	1.5	0.5	1	<p><講義内容></p> <p>(1)記録における情報の共有化</p> <p>(2)介護における記録の意義や目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護に関する記録の種類 <p>(2)報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告の留意点 ・連絡の留意点 ・相談の留意点 <p>(3)コミュニケーションを促す環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議 ・情報共有の場 ・役割認識の場 ・ケースカンファレンスの重要性 <p><通信学習課題内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における記録の意義や目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録 ・介護に関する記録の種類・報告

(合計時間数)	6	3	3	
---------	---	---	---	--

使用する機器・備品等	
------------	--

シラバス

指定番号 254

商号又は名称： 株式会社ワイズユーアイ

科目番号・科目名	(6)老化の理解			
指導目標	<p>・加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化に着目した心理的特徴について列挙できる。</p> <p>例：退職による社会的立場の喪失感、運動機能の低下による無力感や羞恥心など、感覚機能の低下によるストレスや疎外感、知的機能の低下による意欲の低下など</p> <p>・高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴および治療・生活上の留意点、および高齢者の疾病による症状や訴えについて列挙できる。</p> <p>例：脳梗塞の場合、突発的に症状が起こり、急速に意識障害、片麻痺、半側感覚障害を生じるなど</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3.5	1.5	2	<p><講義内容></p> <p>(1)老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喪失体験 <p>(2)老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・咀嚼機能の低下 ・筋・骨・関節の変化 ・体温維持機能の変化 ・精神的機能の変化と日常生活への影響 <p><演習内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴い喪失するものを列挙し、グループで話し合う ・加齢による身体面、精神面・知的面、社会面の変化により、日常生活でどのような影響が出てくるかをグループで意見を出し合う。 <p><通信学習課題内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響
② 高齢者と健康	2.5	1.5	1	<p><講義内容></p> <p>(1)高齢者の疾病と生活上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨粗鬆症 ・骨折 ・筋力の低下と動き ・姿勢の変化 ・関節痛 <p>(2)高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虚血性心疾患 ・冠状動脈 ・老年期うつ病症状、うつ病性仮性認知症 ・誤嚥性肺炎 ・脳卒中 ・パーキンソン病 ・変形性関節症 ・関節リウマチ ・認知症 <p><通信学習課題内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の疾病と生活上の留意点 ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

シラバス

指定番号 254

商号又は名称：株式会社ワイズユーアイ

科目番号・科目名	(7)認知症の理解			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方について概説できる。 ・健康な高齢者の「物忘れ」と、認知症による記憶障害の違いについて列挙できる。 ・認知症の中核障害と行動・心理症状（BPSD）などの基本的特性、およびそれに影響する要因を列挙できる。 ・認知症の心理・行動のポイント、認知症の利用者の対応、コミュニケーションの取り方、および介護の原則について列挙できる。また、同様に、若年性認知症の特徴についても列挙できる。 ・認知症の利用者の健康管理の重要性と留意点、廃用症候群よぼうについて概説できる。 ・認知症の利用者の生活環境の意義やそのあり方について、主要なキーワードを列挙できる。 例：生活習慣や生活様式の継続、なじみの人間関係やなじみの空間、プライバシーの確保と団らんの場の確保、地域を含めて生活環境とすることなど ・認知症の利用者とのコミュニケーション（言語、非言語）の原則、ポイントについて理解でき、具体的ななかかわり方（良いかわり方、悪いかわり方）を概説できる。 ・家族の気持ちや、家族が受けやすいストレスについて列挙できる。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1	1	0	<講義内容> ◎認知症ケアの理念 ・パーソンセンタードケア ・認知症ケアの理念・視点
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	0.5	1.5	<講義内容> ◎認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理 ・認知症の定義 ・認知症の種類 ・原因疾患と病態。疾患別ケアのポイント ・認知症と健忘（もの忘れとの違い） ・認知症とうつ病の違い ・せん妄の症状 ・健康管理（脱水・便秘・低栄養・低運動の防止、口腔ケア） ・認知症の治療 ・薬物療法 ・認知症に使用される薬 <通信学習課題内容> ・認知症の定義 ・認知症の原因疾患とその病態
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	1	1	<講義内容> ◎認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴 ・認知症の中核症状 ・認知症の行動・心理症状（BPSD） ・PACEPの視点 ・不適切なケア ・生活環境で改善 ◎認知症の利用者への対応 ・本人の気持ちを推察する ・プライドを傷つけない、失敗しないような状況をつくる ・認知症の進行に合わせたケア <通信学習課題内容> ・認知症の中核症状 ・心理症状（BPSD）
④ 家族への支援	1	0.5	0.5	<講義内容> ・認知症の受容過程での援助 ・介護負担の軽減（レスパイトケア） <通信学習課題内容> ・介護負担の軽減（レスパイトケア）

(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

シラバス

指定番号 254
商号又は名称: 株式会社ワイズユーアイ

科目番号・科目名	(8)障がいの理解			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の概念と ICF について概説でき、各障害の内容・特徴および障害に応じた社会支援の考え方について列挙できる。 ・ 障害の受容のプロセスと基本的な介護の考え方について列挙できる。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	<講義内容> (1)障がいの概念と ICF ・ ICF の分類と医学的分類 ・ ICF の考え方 (2)障がい者福祉の基本理念 ・ ノーマライゼーションの概念 <通信学習課題内容> ・ 障がいの概念 ・ ICF ・ 障がい者福祉の基本理念
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	<講義内容> (1)身体障がい ・ 視覚障がい ・ 聴覚、平衡障がい ・ 音声、言語、咀嚼障がい ・ 肢体不自由 ・ 内部障がい (2)知的障がい ・ 知的障がい (3)精神障がい ・ 統合失調症・気分障がい ・ 依存症 ・ 高次脳機能障がい ・ 広汎性発達障がい・学習障がい ・ 注意欠陥多動性障がいなどの発達障がい (4) その他の心身の機能障がい <通信学習課題内容> ・ さまざまな障がい
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	<講義内容> (1)家族への支援 ・ 障害の理解、障害の受容支援 ・ 介護負担の軽減 <通信学習課題内容> ・ 家族への支援について
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	
------------	--

シラバス

指定番号 254

商号又は名称： 株式会社ワイズユーアイ

科目番号・科目名	(9)こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	<p>・主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度などに応じた在宅・施設などそれぞれの場面における高齢者の生活について列挙できる。</p> <p>・要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則（方法、留意点、その根拠など）について概説でき、生活の中の介護予防および介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方を列挙できる。</p> <p>・利用者の身体の状態に合わせた介護、環境整備についてポイントを列挙できる。</p> <p>・人の記憶の構造や意欲などを支援と結びつけて概説できる。</p> <p>・人体の構造や機能が列挙でき、なぜ行動が起こるのかを概説できる。</p> <p>・家事援助の機能と基本原則について列挙できる。</p> <p>・装うことや整容の意義について概説でき、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる。</p> <p>・体位変換と移動・移乗の意味と関連する用具・機器やさまざまな車イス、杖などの基本的使用法を概説でき、体位変換と移動・移乗に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>・食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が列挙でき、食事に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>・排泄の意味と排泄を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、排泄に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>・睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>・ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護の役割や他の職種との連携（ボランティアを含む）について列挙できる。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	3	0.5	2.5	<p><講義内容></p> <p>(1)介護の基本視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づく介護と法的根拠に基づく介護 ・リスクマネジメント <p>(2)インフォームドコンセントとインフォームドチョイス</p> <p>(3)活動に対するケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ADLとIADL <p><通信学習課題内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づく介護 ・法的根拠に基づく介護
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4	0.5	3.5	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶の基礎知識 ・感情と意欲の基礎知識 ・自己概念と生きがい ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 ・こころの持ち方が行動に与える影響 ・からだの状態がこころに与える影響 <p><通信学習課題内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶の基礎知識 ・感情と意欲の基礎知識 ・自己概念と生きがい ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因

③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	0.5	3.5	<講義内容> ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 ・中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識 <通信学習課題内容> ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 ・中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識
④ 生活と家事	3	0.5	2.5	<講義内容> ◎家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援について ・生活歴 ・自立支援 ・予防的な対応 ・主体性、能動性を引き出す ・多様な生活習慣 ・価値観 <通信学習課題内容> ・家事と生活の理解 ・家事援助に関する基礎的知識と生活支援
⑤ 快適な居住環境整備と介護	3	3	0	<講義内容> ◎快適な居住環境に関する留意点と支援方法 ・家庭内に多い事故 ・バリアフリー ・住宅改修 ・福祉用具貸与 <演習内容> 居室内のリスクマネジメントについてグループワークを行う
⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4	4	0	<講義内容> ◎整容に関する基礎知識、整容の支援技術 ・身体状況に合わせた衣服の選択、着脱 ・身じたく ・整容行動 ・洗面の意義、効果 【実技演習内容】 指導体制：1名 ・片麻痺の方への衣服着脱の介助（ベッド上・座位）
⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	15	15	0	<講義内容> ◎移動・移乗に関する基礎知識 ・利用者と介護者の双方が安全で安楽な方法 ・利用者の自然な動きの活用 ・残存能力の活用・自立支援 ・重心・重力の働きの理解 ・ボディメカニクスの基本原理 ・移乗介助の具体的な方法 （車いすへの移乗の具体的な方法、 全面介助でのベッド・車いす間の移乗、 全面介助での車いす・洋式トイレ間の移乗） ・移動介助（車いす・歩行器・つえ等） ・褥瘡予防 【実技演習内容】 指導体制：1名 ・ベッド上での体位交換 ・立位介助、座位介助 ・ベッドから車いすへの移乗介助（全介助、一部介助） ・車いすの点検、操作方法 ・車いす移動の介助 ・杖歩行の介助

<p>⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	5	5	0	<p><講義内容> ◎食事に関する基礎知識、 ・食事をする意義・目的 ・食事のケアに対する介護者の意識 ・低栄養の弊害 ・脱水の弊害 ・食事と姿勢 ・咀嚼・嚥下のメカニズム ・食事の環境整備 ・食事に関した福祉用具の活用と介助方法 ・口腔ケアの定義 ・誤嚥性肺炎の予防</p> <p>【実技演習内容】 指導体制：1名 ・座位での基本的な食事介助について ・視覚障がいのある利用者の食事介助 ・口腔ケア</p>
<p>⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	7	7	0	<p><講義内容> ◎入浴、清潔保持に関連した基礎知識、 ・入浴の意義・目的 ・羞恥心や遠慮への配慮 ・体調の確認 ・入浴介助の基本 ・全身清拭 (身体状況の確認、室内環境の調整、 使用物品の準備と使用方法、全身の拭き方、身体を支え方) ・目・鼻腔・耳・爪の清潔方法、 ・陰部清浄(臥床状態での方法) ・足浴・手浴・洗髪</p> <p>【実技演習内容】 指導体制：1名 ・足浴介助 ・清拭介助 ・浴槽の出入りなどの介助</p>
<p>⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	7	7	0	<p><講義内容> ◎排泄に関する基礎知識 ・排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担・尊厳や生きる意欲との関連 ・排泄とは ・身体面での意味 ・心理面での意味 ・社会的な意味 ・おむつ使用の弊害 ・排泄障害が日常生活上に及ぼす影響 ・一部介助を要する利用者のトイレ介助の具体的方法 ・便秘の予防(水分の摂取量保持、食事内容の工夫、繊維質の食物を多く取り入れる、腹部マッサージ)</p> <p>【実技演習内容】 指導体制：1名 ・ベッド上でのおむつ交換 ・ベッド、車いすからポータブルトイレへの介助</p>
<p>⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	7	7	0	<p><講義内容> ◎睡眠に関する基礎知識 ・睡眠の意義・目的 ・睡眠障害について ・安眠のための介護の工夫、環境の整備 (温度や湿度、光、音、よく眠るための寝室) ・夜間頻尿の予防</p> <p>【実技演習内容】 指導体制：1名 ・介護用ベッドの基本操作 ・ベッドメイキング</p>

⑫ 死にゆく人に関連したところ とからだのしくみと終末期介 護	1	1	0	<講義内容> ◎終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ ・終末期ケアとは ・高齢者の死に至る過程 ・臨終が近づいたときの兆候と介護 ・介護従事者の基本的態度 ・多職種間の情報共有の必要 <演習内容> 自身が望む「最期の在り方」について、グループで できるだけ詳細に話し合うグループワークを行う。
⑬ 介護過程の基礎的理解	6	6	0	<講義内容> ・介護過程の目的・意義・展開 ・介護過程とチームアプローチ <演習内容> 介護過程を展開することで、よりよい介護につながる理由を 検討し、介護過程の必要性について理解を深める
⑭ 総合生活支援技術演習	6	6	0	<演習内容> (事例による展開) ・事例の提示→ところとからだの力が発揮できない要因の 分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習 →支援技術の課題 ・事例：高齢(88歳) 要介護1、認知症
(合計時間数)	75	63	12	

使用する機器・備品等	介護用ベッド、車いす、浴槽、ポータブルトイレ 足浴器、歩行杖、口腔ケアスポンジ、おむつ、ベッドシーツ、防水シート 各種食器(箸、スプーン、フォーク、お椀)、とろみ 衣服(各自)、アイマスク(各自)、タオル(各自)
------------	---

シラバス

指定番号 254

商号又は名称： 株式会社ワイズユーアイ

科目番号・科目名	(10)振り返り			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。 ・研修と通じて学んだこと、今後も継続して学ぶべきことを演習を通して受講者が気づき、利用者の生活を支援する介護ができる。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	2	2	0	<講義内容> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して学んだこと ・今後継続して現場で学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点 <演習内容> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者と接するときに、どのようなことに気を付ける必要があるのかグループワークを行う。 ・今までの研修を踏まえて、自分自身が介護に携わるとしたら、どのようなことを大切にしていきたいと思うか、グループワークを行う。
② 就業への備えと研修修了後における事例	2	2	0	<講義内容> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に学ぶべきこと ・研修終了後における継続的な研修について具体的にイメージできるような事例の紹介 (Off-JT、OJT)
(合計時間数)	4	4	0	

使用する機器・備品等	
------------	--